

研究紀要第34号

期にふさわしい生活

—いろいろな人とのかかわりの中で

響きあって生活する子どもを求めて—

2001

島根大学教育学部附属幼稚園

期にふさわしい生活

—いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する姿を求めて—



2002年
島根大学教育学部附属幼稚園

はじめに

子どもを取り巻く環境が、①少子化、核家族化、情報化、女性の社会進出 ②地域社会における大人相互間、子ども相互間、大人と子どもの相互間の連帯感やつながり意識といった共同性の喪失などにより大きく変化してきました。それに応じて子どもたちも変化してきていることは間違いのないことでしょう。本園の子どもたちにも、人とかかわる力が衰弱する傾向が見られます。この実態を踏まえて、「いろいろな人とふれあい、かかわっていく中で、豊かな感情体験をしながら自分の生活や遊びに願いやめあてを持ち取り組んでいく子ども」の育成を目指して、副主題「いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する子どもを求めて」を設定しました。

さて、これまでわが国の教育では、教師の指導性と子どもの自主性（自立性）をめぐって論議の絶えることはありませんでした。「指導すると自立は遅れる。自主性を妨げる」「子どもの自立のためには、他律である指導は邪魔になる。なるべく避けたほうがよい」など、いわば自主性尊重派の論理が優勢となり、その間、子どもの自主性、主体性を尊重する教育観が主流となってきました。それに対し、「指導性重視派」の反論が教育や子どもの現状と共に始まっています。「やはり指導しないと、期待するような子どもの自主性は達成できない」「指導してこなかったから、子どもは自立しなかったのだ」など、「指導性重視派」が、再びその勢いを盛り返そうとしています。

幼稚園教育では、前回の幼稚園教育要領で設定保育から自由保育への大転換がなされました。周知のように、自由という名の下に単なる「放牧保育」になってはいないかと警鐘が鳴らされています。さらには、小学校以降の教育困難の元凶とすらされています。

大人からの働きかけは、子どもの自立や成長の支援となる時、その意味を持ちます。子どもの自立性、自主性、主体性に支持されてはじめてその働きかけは、子どもの内部に響くことができます。教師の指導は子どもの自立性自主性と対立するものでなく、矛盾しながらも教育されつつ自立し、自立しつつ教育される、という相互関係の中に指導性と自主性は存在するのであろうと考えます。保育者と子どもの関係において、このような相互関係が副主題の「響きあって」の言葉の内に秘められています。平成12年度からの新幼稚園教育要領は、この保育者の援助と子どもの自主性のパラドックスを乗り越えることを求めているのではないのでしょうか。

本研究副主題は、平成13年度から取り組み始めたもので、まだ十分な研究の積み重ねがなく、焦点も整理できていません。いわば途中経過をまとめたものにすぎません。今後研鑽を積んでいきたいと思っていますので、皆様方からの忌憚のないご意見やご批評を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

目 次

期にふさわしい生活

—いろいろな人とのかかわりの中で響きあって生活する姿を求めて—

はじめに

研究計画と取り組みの全体概要

I 研究主題について

- 1、主題設定の理由…………… 1
- 2、教育課程編成と時期時期の「生活の構想」（指導計画）の基本的な考え方…………… 2
 - (1) 教育課程の編成における視点…………… 2
 - (2) 「生活の構想」の考え方…………… 3
- 3、基本的な保育の姿勢について…………… 4

II 平成13年度の研究の概要

- 1、平成12年度研究の歩み…………… 6
 - (1) 本園の子どもの家庭の実態・子どもの発達傾向…………… 6
 - (2) 平成12年度研究の成果と課題…………… 7
- 2、本年度副主題について…………… 7
 - (1) 副主題設定の理由…………… 7
 - (2) 研究のねらい…………… 8
 - (3) 追究の視点…………… 8
 - (4) 研究のまとめ…………… 8

III 平成14年度の研究の課題…………… 9

保 育 の 実 践

- 実践1 3歳児いちご組
親と子が共に育ち合うための保育環境づくりを通して
野津道代……………18
- 実践2 4歳児さくら組
ひとりひとりの歩みを大切にして
—次第に友だちに心を向けていったナナの事例より— 星野和美……………31
- 実践3 4歳児たんぽぽ組
多様な課題をもつ子どもと共に育ちあう学級経営を考える
—一人ひとりの自己表現を互いに受けとめ受け入れていく関係づくり—
岡崎由美子……………42
- 実践4 5歳児ほし組
にわたりの飼育を通して、子どもと保育者が共有していく経験を探る
小早川周子……………54
- 実践5 5歳児つき組
一人ひとりの個性を互いに受けとめ受け入れていく関係づくり
堀江佐智子……………66
- 実践6 子どもたちの発達からとらえる養護教諭の関わりと保健室の役割
—保健室来室記録から見えてくる子どもたちの姿—
養護教諭 石川世津子……………75
- 実践7 いろいろな人とのかかわりの中で育つもの
—N児の育ちを追いながら援助のあり方を探る—
講 師 森本かほる……………82
- 実践8 親と子が共に育ち合うための保育環境づくり
—家庭との連携を通して—
副園長 福田郁子……………90

島根大学教育学部附属幼稚園研究同人

園長	林隆一
副園長	福田郁子
教諭	野津道代
	星野和美
	岡崎由美子
	石橋かおり
	堀江佐智子
	小早川周子
養護教諭	石川世津子
非常勤講師	森本かほる